

鳥栖市立若葉小学校



コミュニティ・スクールだより

第3号 令和5年12月8日

文責 校長 篠田 桂子

◆第3回学校運営協議会を開催しました

12月1日(金)の若葉フェスタ・学習発表会の後、「学校運営協議会による学習支援」「学校評価(中間評価)」「若葉小よい子の約束」「子供たちの学習面・生活面」について協議を行いました。

●学校運営協議会による学習支援について

学校と地域との連携を図りながら進めている学習支援の内容を確認しました。これまでの取組として、11月に4年生の社会科「ごみのゆくえ」の学習で、地域清掃ボランティアの皆さんと若葉地区のゴミ拾いを行いました。



【4年生の感想】

- いろいろなゴミがたくさん落ちていてびっくりしました。このゴミ拾いで、「ゴミを拾ったら心もすっきりするし、町もきれいになって良かったな」と思いました。
- みんなでたくさんゴミを拾ったからきれいになりました。空き缶やタバコの吸い殻、お菓子の袋などのたくさんのゴミが落ちていました。その中でもタバコの吸い殻が多かったです。拾い終わったので、もうゴミを捨てないでほしいです。地域の皆さんとゴミが拾えてきれいになったので良かったです。

今後は、3年生の社会科で若葉小校区のうつりかわりや祭りについてのお話をうかがう活動(1月予定)、5年生の図画工作の学習で糸のこぎりの使い方指導(1月予定)、2年生の算数の学習で九九の習熟のための補助(1~2月予定)、2年生の教科「日本語」の学習で昔遊びの体験活動(1~2月予定)、1年生の図画工作の学習で凧作り(2月予定)、6年生の図画工作の学習で卒業記念品としての縄跳び練習版の製作(2月予定予定)などを計画しています。

学習支援を通して、地域の方は子供や学校を知り、子供は地域や地域の方を知る機会が増え、学校と地域とともに子供たちを育てていく環境が整うことで、子供たちの豊かな心を育むことにもつながると考えます。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●学校評価（中間評価）について

学校評価では、年度当初に学校における重点取組内容を決め、その取組に対して教職員の自己評価や子供たちのアンケート結果、さらには保護者の皆様からのアンケート結果等を基に中間評価(10月)・最終評価(3月)を行います。今回、学校運営協議会で、中間評価についての熟議を行いました。



その中で、「望ましい生活習慣の形成」の項目における挨拶について、「校内・校外において進んで挨拶をする子としない子の差が大きい」「大人が目を見て挨拶をすることを続けると、子供たちから返してくれるようになってきた」という意見がありました。今後も、学校運営協議会や保護者の皆様の声を大切に、学校における教育活動を進めていきたいと考えます。

●「若葉小よい子の約束」について

毎年4月に、子供たち向け・保護者向けに「若葉小よい子の約束」を示し、充実した学校生活を送れるようにしています。学校側から「落ち着いた学校生活を送れるように静かに廊下歩行することや無言掃除を努めている」「友達の家で遊ばずなるべく外で過ごすように指導している」など重点項目について説明を行いました。長期休業（夏休み、冬休み、春休み）前には、生徒指導について学校全体で子供たちに指導を行っています。ご家庭でも、お子様と一緒に再確認をお願いいたします。

●子供たちの学習面・生活面について

子供たちの学習面・生活面について気付きや意見交換を行いました。いくつか上げられた意見の中で、地域での子供たちの様子について気になる意見がありました。

【子供たちの安全面について】

- ・5時になっても公園等で遊んでいる子供たちを見かける。日が落ちるのも早くなり心配である。
- ・安全面から考えると、自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶるように指導してはどうか。

今年度、自転車に係る事故等が若葉小でも数件上がっており、ヘルメット着用の重要性を指導していきたいと考えます。子供たちの様子について、地域の方がよく見守ってくださっています。学校でも注意喚起を行っていきますので、ご家庭でもお願いいたします。また、地域のことで気になることがありましたら、お知らせください。



次回、第4回学校運営協議会は、2月22日(木)を予定しています。「6年生を送る会」に合わせて実施します。学校運営協議会委員で参観し、6年生に向けて心を込めて発表する各学年の姿や、卒業していく立派な6年生の姿を見ていただくことができたらと考えています。